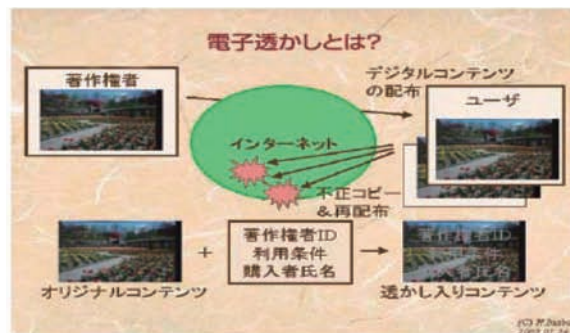


電子透かし付加デジタル著作物の著作権管理

技術の概要

近年インターネットの普及により画像や音楽等デジタル情報が誰でも簡単に取得できます。このような背景のもとで、デジタル情報の著作権保護に関する問題が新たに生じています。

電子透かしとは、デジタルコンテンツに著作者情報や利用者情報などを、それとは分からない形で埋め込んでおくことで、デジタル著作物の著作権を上手にコントロールするだけでなく、著作物の多面的な利用を可能にするものです。



従来技術と研究技術の比較

データの圧縮や加工に強い、MPEG ビデオ電子透かし技術 MPmark がありますが、本研究室で開発したハイブリット型電子透かしは、圧縮や回転、切り取りなど様々な加工に対し、さらに強い耐性を持っている電子透かしの方法です。

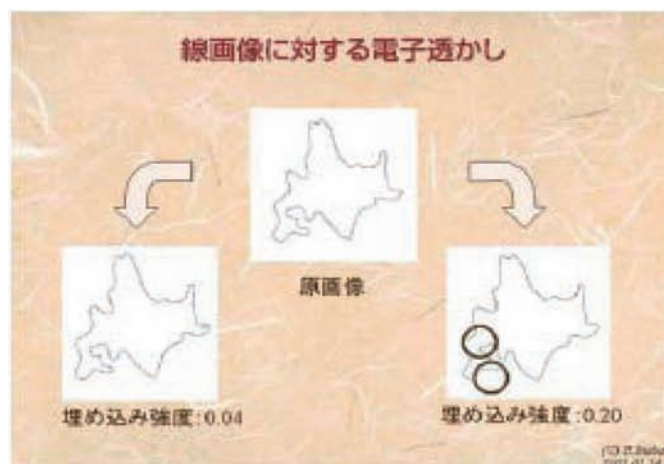
情報
セキュリティ

研究技術の実用の可能性

(1) 静止画像に対する電子透かし技術



(2) 線画像に対する電子透かし技術



(3) その他、電子透かし技術の多方面への応用：デジタル著作物（動画含む）、著作権管理、秘密情報の埋め込み、コンテンツの劣化防止、コンテンツの改竄

研究技術の裏付け

研究室で開発したハイブリット型電子透かしは、圧縮や回転、切り取りなど様々な加工に対して強い耐性を持っています。他に多種の著作物に適した電子透かし技術の成果があります。

特許関係・参考資料

主な論文

改ざんを考慮した動画の電子透かしに関する 2,3 の考察、映像情報メディア学会誌、54/4, 593-600.* 角野英之、稲葉宏幸、笠原正雄 .映像情報メディア学会 .2000.04

主な著書

電子透かし技術—デジタルコンテンツのセキュリティ .稲葉宏幸 (小松、田中編著)
電気大出版局 .2004.01

研究者

京都工芸繊維大学
大学院工芸科学研究科
情報工学部門

教授 稲葉 宏幸

通信・ネットワーク工学、
計算機システム・ネットワーク、
計測工学

研究テーマ

デジタルコンテンツの保護に関する研究
ネットワークセキュリティに関する研究
情報通信倫理に関する研究
不規則流画計測に関する研究